

| 科目名：保健体育【実技】 (必修1単位) | | 担当教員名：佐藤 伴哉 | 使用テキスト： |
|--|-----------------------------|--|---------|
| | | 担当形態：単独 | なし |
| 科目 | 教育職員免許法施行規則第66条の6 に定める科目 | 施行規則に定める科目区分又は 事項等 | 体育 |
| 授業の到達目標及びテーマ： 運動を通して、健康の維持増進を図る | | | |
| 授業の概要： 卓球・バドミントン・バレーボール・バスケットボール・軽スポーツを行う | | | |
| 回 | 項 目 | 内 容 | |
| 1 | 集合隊形について | 1、集合方法 2、隊形についての説明（横隊・縦隊） | |
| 2 | 集合隊形について | 1、集合方法 2、グループ別に練習 3、レクリエーションゲームを行う | |
| 3 | 卓球Ⅰ | 1、卓球のルールを説明し、審判の仕方を理解させる 2、グループ別にサーブ練習 3、二人組になり、フォアハンドのラリー練習 | |
| 4 | 卓球Ⅱ | 1、二人組になり、バックハンドのラリー練習 2、二人組になり、ラリー練習 | |
| 5 | 卓球Ⅲ | 1、卓球のルールと審判の仕方を再確認させる 2、グループ別にシングルのリーグ戦を行う | |
| 6 | 卓球Ⅳ | 1、ダブルスのルールを理解させる 2、ダブルスのペアを作り、ラリー練習をさせる 3、グループ別にダブルスのリーグ戦を行う | |
| 7 | 卓球Ⅴ | 1、シングルのトーナメント戦を行う 2、敗者復活戦を行う | |
| 8 | 卓球Ⅵ | 1、ダブルスのトーナメント戦を行う 2、敗者復活戦を行う | |
| 9 | バドミントンⅠ | 1、バドミンントンのルールを説明し、審判の仕方を理解させる 2、試合方法について説明 3、グループ別にサーブ練習 | |
| 10 | バドミントンⅡ | 1、基本ストロークを理解させる 2、二人組でドロップショットとロビング練習 3、二人組でドライブショット練習 | |

| | | |
|----|--------------------|--|
| 11 | バドミントンⅢ | 1、基本ストロークを再確認させる 2、二人組でプッシュショットとレシーブ練習 3、二人組でクリアショット練習 |
| 12 | バドミントンⅣ | 1、二人組でスマッシュショット練習 2、二人組でヘアピンショット練習 |
| 13 | バドミントンⅤ | 1、グループ別に半面シングルスリーグ戦を行う |
| 14 | バドミントンⅥ | 1、半面シングスルのトーナメント戦を行う 2、敗者復活戦を行う |
| 15 | バドミントンⅦ | 1、ダブルスのルールを説明し、審判の仕方を理解させる 2、グループ別にダブルスのリーグ戦を行う |
| 16 | バドミントンⅧ | 1、ダブルスのトーナメント戦を行う 2、敗者復活戦を行う |
| 17 | バレーボールⅠ | 1、バレーボールのルールを説明し、理解させる 2、試合方法について説明 3、グループ別にサーブ練習 |
| 18 | バレーボールⅡ | 1、グループ別にアンダーパス練習 2、グループ別にトス練習 |
| 19 | バレーボールⅢ | 1、グループ別に3段攻撃練習 2、試合形式の練習 |
| 20 | バレーボールⅣ | 1、リーグ戦を行う |
| 21 | バスケットボールⅠ | 1、バスケットボールのルールを説明し、理解させる 2、試合方法について説明 3、グループ別にパス練習 |
| 22 | バスケットボールⅡ | 1、グループ別にパス練習 (チェストパス・アンダーハンドパス・オーバーヘッドパス) 2、グループ別にドリブル練習 |
| 23 | バスケットボールⅢ | 1、バスケットボールのルールを再確認させる 2、グループ別にドリブルシュート練習 3、グループ別にシュート練習 |
| 24 | バスケットボールⅣ | 1、リーグ戦を行う |
| 25 | バレーボール バスケットボール | 1、男女混合リーグ戦を行う 2、男女混合リーグ戦を行う |

| | | |
|--|--------------------|---|
| 26 | バレーボール バスケットボール | 1、男女混合リーグ戦を行う 2、男女混合リーグ戦を行う |
| 27 | ドッジビーⅠ | 1、ドッジビーのルールを説明し、理解させる 2、グループ別にバックハンドスロー練習 3、試合形式を行う |
| 28 | ドッジビーⅡ | 1、グループ別にバックハンドスロー練習 2、試合形式を行う |
| 29 | ストレッチング方法Ⅰ | 1、ストレッチの効果の説明し、理解させる 2、個人ストレッチングを行う |
| 30 | ストレッチング方法Ⅱ | 1、ウォーミングアップとクーリングダウンの違いを説明し、理解させる 2、パートナーストレッチングを行う |
| | 期末試験実施しない | |
| 【参考書・参考資料】 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示） | | |
| 【学生に対する評価方法】 授業に対する参加姿勢（積極性・意欲・協調性等） | | |